

第3回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

- ◆開催日時：平成28年6月20日（月） 18：00～
- ◆開催場所：登別市役所2階 第1委員会室
- ◆出席部会員：部会長 江口 武利
副部会長 川島 芳治
部会員 久保田 博史
丸 博子
関 修
遠藤 潤
澤田 時人（協働推進庁内委員会）【総務部次長】
千葉 浩樹（協働推進庁内委員会）
【総務部総務G総括主幹】
- ◆欠席部会員：部会員 和泉 薫
- ◆事務局： 佐藤 紀清【市民生活部長】
有馬 亮太【市民生活部市民協働グループ主任】

- ◆議題：「健康」に関する取り組みについて

《事務局》

前回、健康を柱という事で自治推進委員会の各部会で話をしていますが、防災・環境部会としましては、多くお話しされていたのは、健康である事の中で防災訓練をしているという話が出ていました。

災害時に避難場所まで避難する際も、健康でなければ避難をすることができないということで、日頃から町内会等で避難訓練を実施しているという話もありました。

また、最近ですと津波避難訓練という事で、高台の避難場所へ移動する際にも体の健康だけではなく、心の健康ということで、歩いて避難している際に町の風景やきれいな花を見ることで心も健康になるのではないかという話をしていたと思います。

そのような方向性の中で、今回2回目の防災・環境部会ですが、もう少し詰めて話をさせていただきたいと思っております。

前回お渡ししていた資料ですが、第三期基本計画の第2章にあるぶら下がり事業について記載したものでした。

今回の会議までに、説明を受けたい事業等の連絡はありませんでした。

もし、あるならば本日の会議の中でお話しできればと思います。

本日配付しました資料ですが、遅くなりましたが前回の会議録と、事務局から広報紙を抜粋したもの、これは毎年富岸地区連合町内会で実施している「歩こう会」の記事となっております。

富岸地区連合町内会では、自宅から亀田記念公園駐車場までの所要時間を測り名簿に記載し、その後全体でラジオ体操を行い、亀田霊園の上にあるお寺の近くまで歩き、そこでクジを引き亀田記念公園駐車場まで戻ります。戻ったらクジに記載されている数のボックスティッシュが貰えるということで、子どもから大人まで毎年数多くの方が参加していると聞いております。

《部会長》

前回防災に関する健康と一般に関する健康が話し合われました。

基本的には防災に関する健康ということで話を進めてきましたが、他の部会ではその部会に関する事で話をしているのか、それ以外の一般的な事を話しているのかどちらなのでしょう。

《事務局》

一般的な話ということは聞いていません。

他の部会も、その部会に特化したような形で話し合っていると聞いております。

ただし、部会長副部会長会議の中では、そういった一般的な話というのも出てくる可能性があるかと思えます。

《部会長》

基本的にこの部会は、避難場所までの避難ということになりますね。

防災に関しての健康法はそんなにないですね。

先ほどの富岸地区連合町内会のように、何か景品があれば沢山の方に参加してもらえるかもしれないですね。

《副部会長》

単位町内会で実施するのと地区連合町内会で実施するのでは避難場所が違います。

私の地域では昨年、あえて雨の中実施しました。

参加した方からは、雨の訓練も大事だねという言葉をいただき理解してもらいました。

《部会員》

歩いて健康増進を考えるとという避難訓練も大切ですが、健康ではない人（障がいのある方や独居の高齢者）に対して、どう考えていき対応したら良いのかという考え方を整理するのも良いのではないかなと思います。

《事務局》

社会福祉協議会で取り組んでいる小地域ネットワークがありますが、平時からの見守り、有事の時に何かできないかという取り組みとなっています。

健康ということで言うと、そうならない様にするためにも健康でいようということにもなるのかなと思います。それと防災を結び付ければ広まるのかなという感じはあります。

ほかには、防災と離れるかもしれませんが、以前取り組んだことがあって、各地域でノルディックウォーキングをやりましょうということでウォーキングマップを作りましたのでご活用いただければと思います。

《庁内委員》

ノルディックウォーキングなら、膝の悪い方も杖を使って歩けますね。

《事務局》

このマップには、自然についても記載されているので、環境と結びつくかなと思いき情報提供させていただきました。

《部会員》

最後、どうまとめるかは後にして、皆さんが思いつきで話をしていただき、自助・共助・公助でいきますと、まずは個人の健康増進を考えて、その次に見守りとして地域としての防災環境に関わる行動がどのように健康に繋がるのかということを考えれば良いのかなと思います。

人間の健康に関するだけでなく、健全な地域組織というか社会生活の健康や健全化という考え方を含めても良いのかなと思います。

《事務局》

防災・環境の中には交通安全や普通の事故等の防災ということもあります。津波など本当の災害以外にも話し合う事ができるのかなと思います。

《副部長》

自分達の出来る範囲でごみを拾いながら歩くこともできますね。

《事務局》

例えば、ごみ袋一袋分のごみを拾ったら、ごみ袋一袋をあげるようなものがあったとしても良いですね。

《副部会長》

健康になりますし、まちがきれいになりますね。

《事務局》

今度の部会長副部会長会議の中では色々な案が出てくると思いますので、防災・環境部会としても今すぐに固めないといけない訳ではありません。

《事務局》

また、各部会ですべて出してもらった方向性などについて、事務局がまとめますので、部会長副部会長会議の中で意見交換をしていただく予定です。

その後、防災・環境部会で皆さんにお話をさせていただきながら進めることになります。

【次回会議について】

・部会長副部会長会議を踏まえ、改めて各部会でできることを整理しながら次の部会に繋げていく。

【次回の日程】

平成28年7月25日（月）18時00分から